

特集

経営のグローバル化?!

— 求められる国際人事の役割

今、改めて「経営のグローバル化」の意義が問われ始めている。

トランプ政権 2.0 による関税競争やブロック化の懸念、原材料費や輸送コストの上昇などにより、グローバル展開する日本企業の多くは、サプライチェーンや生産・販売拠点の見直し、海外事業計画の変更や撤退などの難題に直面している。

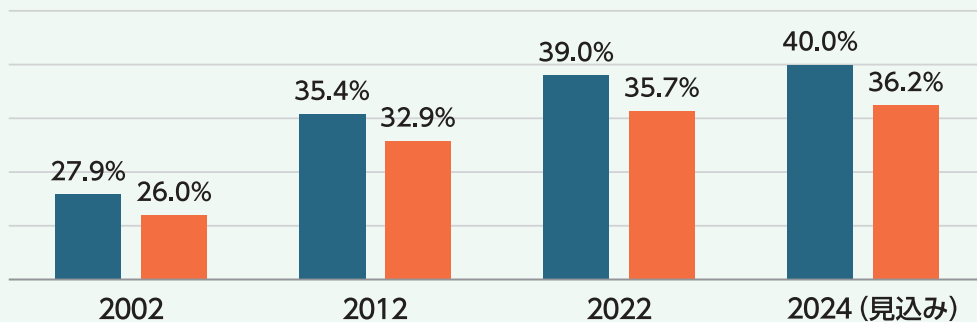
こうした激しい環境の変化にさらされる中、企業の国際人事の使命と役割とは？

海外売上高比率、海外生産比率の推移

「ビジネスのグローバル化」は着実に進展中

■ 海外売上高比率

■ 海外生産比率



各種指標の算出方法 (いずれも連結ベース) 調査企業数: 936 社、回答数 495 社 (回答率 52.9%)

・海外売上高比率 = 海外売上高 / (国内売上高 + 海外売上高)

・海外生産比率 = 海外生産高 / (国内生産高 + 海外生産高)

出所: JIBC 「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」—2024 年度海外直接投資アンケート結果 (第 36 回) —

特集では、まず日外協が実施した「第 13 回 経営のグローバル化に関するアンケート」の調査結果を報告する。

次に、早稲田大学大学院 経営管理研究科 (早稲田ビジネススクール) の堀江教授に日本企業のグローバル経営を巡る課題について話を聞いた。

最後に、グローバル化を積極的に進めている会員企業の国際人事マネジャーによる覆面座談会を開催。人や組織のグローバル化に取り組む各社の本音を紹介する。